



# UBE

証券コード 4208

# 株主通信 Vol.12

2012年4月1日～2012年9月30日

技術の翼と革新の心。

Wings of technology and spirit of innovation.

宇部興産株式会社

# 株主の皆様へ

“株主通信”をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当中間期の経済情勢は、米国では緩やかな回復が続いたものの、欧州財政危機への不安が世界経済に影響を及ぼし、アジアでも中国をはじめとして景気の拡大テンポが鈍化するなど、世界経済は減速感が広がりました。一方国内経済は、復興需要等を背景として景気は緩やかに持ち直しつつも、円高や海外景気の減速など、不透明感が強まりました。

このような状況の下、当社グループは、当期を最終年度とする3カ年の中期経営計画「ステージアップ2012 -新たな挑戦-」の基本方針である「持続的成長を可能にする収益基盤の確立」「財務構造改革の継続」「地球環境問題への対応と貢献」に基づき、市場や需給環境の変化にスピード感を持って対応するとともに、各事業課題の解決に向け、取り組んでまいりましたが、当中間期における当社グループの連結業績は、減収減益となりました。

今後の経済情勢につきましては、新興国の成長が鈍化するなど世界経済は減速の動きが広がり、国内経済においても輸出の低

迷、デフレの影響など、事業環境は一段と不透明さを増し、予断を許さない状況が続くものと予想されます。

こうした情勢を踏まえ、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、中間配当は見送らせていただきたく、なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

なお、期末配当につきましては1株につき5円とさせていただきます。

当社グループは、引き続きグループの総力を結集し、可能な限り収益の底上げを図るとともに公正な企業活動を推進し、グループの創業時の理念である「共存同栄」の精神の下、社会との共生を目指し、株主や資本市場をはじめ、取引先・従業員・地域社会等、すべてのステークホルダーからの信認をさらに深めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **竹下 道夫**



## CONTENTS

株主の皆様へ	1
中間連結業績ハイライト	2
部門別概況(連結)	3
〈Close-Up UBE〉電池材料事業	4
トピックス	5
決算の概況(連結)	7
CSR報告書のご案内	9
会社情報	9
株式情報	10

マネジメント・チーム (2012年9月30日現在)



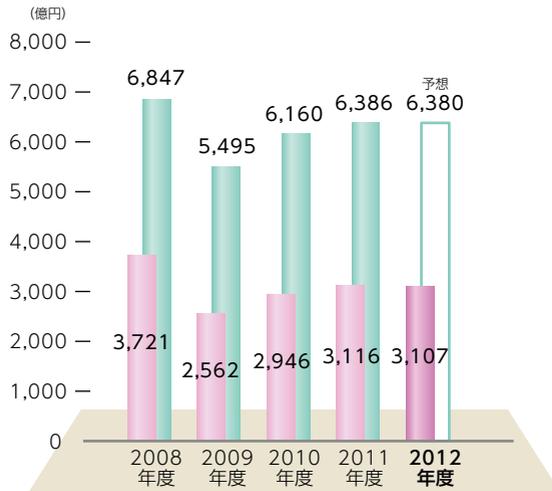
後列左から：野口章二取締役\*、泉原雅人取締役、元田充隆取締役\*、東哲郎取締役\*  
前列左から：竹下道夫代表取締役社長、田村浩章取締役会長、古川陽道代表取締役

\*社外取締役

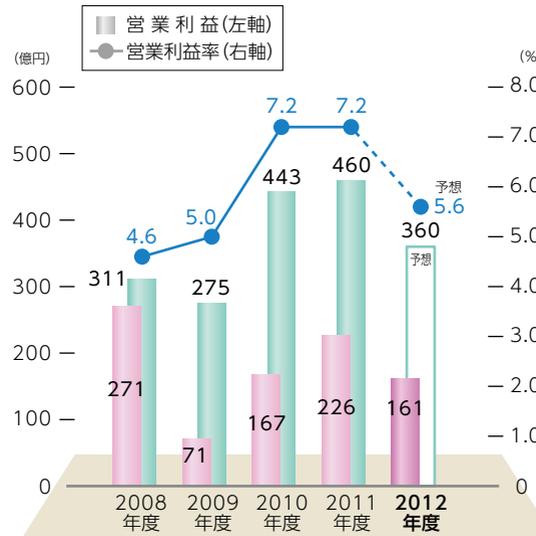
# 中間連結業績ハイライト

■ 通期 ■ 中間期 ● 通期 ● 中間期

## 売上高



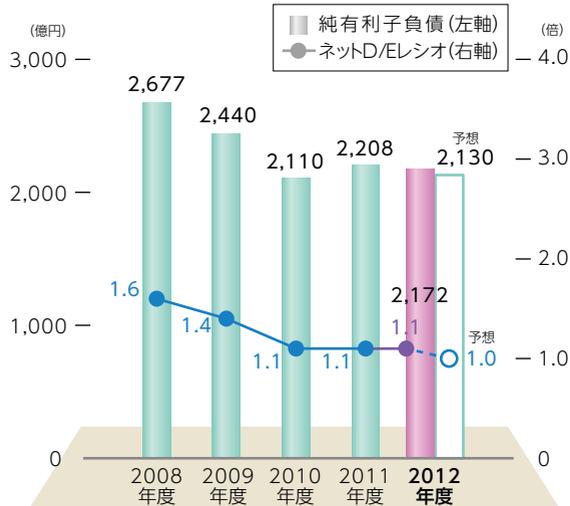
## 営業利益と売上高営業利益率



## 中間(当期)純利益

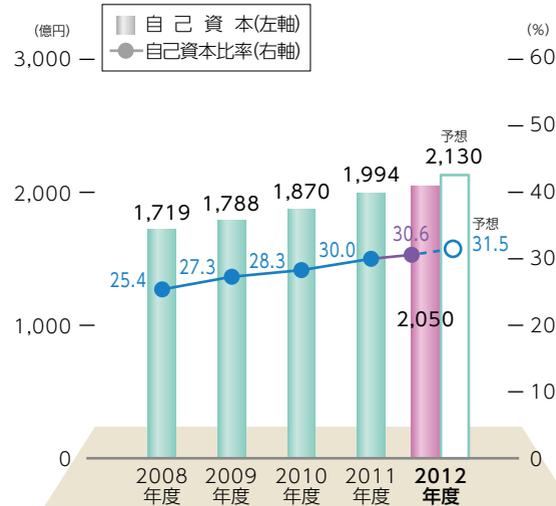


## 純有利子負債とネットD/Eレシオ\*



\* ネットD/Eレシオ = 純有利子負債 (= 有利子負債 - 現金・現金同等物) / 自己資本

## 自己資本と自己資本比率\*



\* 自己資本比率 = 自己資本 (= 純資産 - 新株予約権 - 少数株主持分) / 総資産

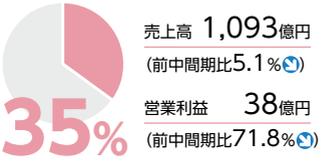
## 総資産と総資産事業利益率(ROA)\*



\* 総資産事業利益率(ROA) = 事業利益 (= 営業利益 + 受取利息・受取配当金 + 持分法投資損益) / 総資産

# 部門別概況（連結）

### ● 化成品・樹脂



売上高 1,093億円  
(前中間期比5.1%)

営業利益 38億円  
(前中間期比71.8%)

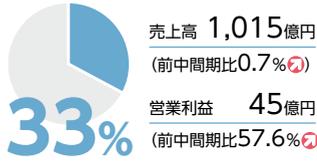
35%

＜主要製品＞

- 合成ゴム
- カプロラクタムチェーン
  - カプロラクタム
  - ナイロン樹脂
  - 工業薬品

ナイロン原料のカプロラクタムは、世界的な景気の減速や中国市場での他社新設備稼働開始に伴う需給緩和により市況が低迷し、スプレッド（製品と原料の値差）は好調だった前年同期に比べ大幅に縮小しました。ポリブタジエン（合成ゴム）も中国需要低迷の影響を受け、出荷は前年同期を下回りました。一方、ナイロン樹脂はエコカー補助金の効果などもあり、自動車向けを中心として好調で、工業薬品も総じて堅調に推移しました。

### ● 建設資材



売上高 1,015億円  
(前中間期比0.7%)

営業利益 45億円  
(前中間期比57.6%)

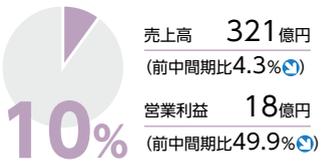
33%

＜主要製品＞

- セメント・生コン
- 資源リサイクル
- 石灰石
- 建材関連製品  
(セルフベリング材、左官材、防水材)
- カルシア・マグネシア
- 機能的無機材料

セメント・生コン及び建材製品の出荷は、マンション・住宅着工や企業の設備投資が持ち直すとともに、復興需要も出始めたことから、前年同期を上回りました。各種廃棄物の原燃料へのリサイクルも堅調でした。カルシア・マグネシア製品の販売は、自家発電設備の排煙脱硫向けの出荷は堅調でしたが、鉄鋼、電子情報材料向けの需要は低迷しました。

### ● 機能品・ファイン



売上高 321億円  
(前中間期比4.3%)

営業利益 18億円  
(前中間期比49.9%)

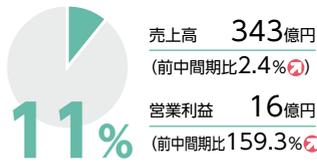
10%

＜主要製品＞

- 機能性材料
  - ポリイミド
  - 電池材料（電解液、セパレーター）
  - 半導体関連・電子材料  
(高純度化学薬品、光通信関連)
  - ガス分離膜
  - セラミックス
  - 通信部品
  - 航空宇宙材料
- ファインケミカル

リチウムイオン電池用の電池材料については、セパレーターの出荷は車載需要の立ち上がりに伴い伸長しましたが、電解液の出荷は国内民生需要低迷の影響を受け低調でした。電子情報材料分野での需要回復遅れにより、薄型テレビ向けフィルムを中心とするポリイミドの出荷も伸び悩み、太陽電池生産部材向けを中心とするセラミックスなど、多くの機能性材料で出荷が低調でした。ファインケミカル製品は、総じて市況低迷の影響を受けました。

### ● 機械・金属成形



売上高 343億円  
(前中間期比2.4%)

営業利益 16億円  
(前中間期比159.3%)

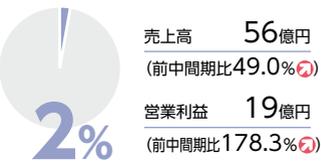
11%

＜主要製品＞

- 成形機  
(ダイカストマシン、射出成形機)
- 産業機械（運搬機、粉砕・破碎機）
- 橋梁・鉄構
- 製鋼品

自動車産業向けを中心とする成形機は、新機種の市場への浸透が進み、受注は新興国・北米向けを中心に増加しました。堅型ミルや運搬機等の産業機械は、円高や国内外メーカーとの価格競争の激化等により受注では厳しい状況が続きましたが、足元の出荷は堅調でした。製鋼品は、市場の需要低迷及び円高の影響を受け、出荷は低調でした。

### ● 医薬



売上高 56億円  
(前中間期比49.0%)

営業利益 19億円  
(前中間期比178.3%)

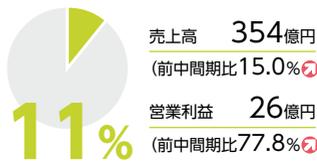
2%

＜主要製品＞

- 医薬品（原体、中間体）

抗アレルギー剤や血圧降下剤、抗血小板剤の自社医薬品を中心として、原体・中間体の販売は順調に伸長し、ロイヤルティー収入も増加しました。

### ● エネルギー・環境



売上高 354億円  
(前中間期比15.0%)

営業利益 26億円  
(前中間期比77.8%)

11%

＜主要製品＞

- 石炭
- 電力

石炭事業は、販売炭の売上数量、コールセンター（石炭中継基地）の取扱い数量とも、化学、製紙会社向けを中心に好調でした。電力事業は、燃料である石炭価格の下落及び電力需給逼迫に伴う売電価格上昇により採算が改善したことに加えて、IPP発電所にかかる補修費が前年同期に比べ減少しました。

# クローズアップ <Close-Up UBE> 電池材料事業

いまや、携帯電話やスマホ、タブレット端末、ノートパソコンなどで欠かせないリチウムイオン電池。

宇部興産は、リチウムイオン電池の主要4部材(正極、負極、電解液、セパレーター)のうち、電解液とセパレーターで世界から注目されています。

リチウムイオン電池は、携帯電話やパソコン等の民生用途に加えて、自動車向けや蓄電向けに今後、需要が大きく拡大することが見込まれています。

この需要に対応すべく、電解液では米国ダウ・ケミカル社と合併会社アドバンスド・エレクトロライト・テクノロジーズ社を設立し、グローバルでの販売・供給体制を整えるとともに、自動車向けに豊富な実績を持つセパレーターでは日立マクセル(株)と合併で設立した宇部マクセル(株)で耐熱性の高い塗布型セパレーターの開発も進めています。

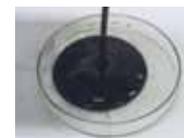
これからもUBEグループは、より安全性が高く、寿命の長い、高性能の電池の実現に向けた材料開発を進め、地球環境に貢献していきます。



## その他のUBEグループの電池関連材料

- 電解液溶媒 DMC、DEC、MEC
- ニッケル水素電池用セパレーター「シムテックス®」(宇部日東化成(株))
- ラミネート型電池パッケージフィルム用ナイロン6樹脂
- 正極・負極の導電助剤「AMC®」

AMC®(分散液)



炭酸ジメチル (DMC)

## 2012年度中間期トピックス一覧

2012年4月 堺工場でリチウムイオン二次電池用セパレーター製造設備増強に着手 **Topics 1**

4月 中国における炭酸ジメチル\*1合併会社設立に合意

4月 東洋機械金属(株)とダイカストマシン生産における業務提携に合意 **Topics 2**

5月 ウベ・ケミカルズ・アジア社においてタイ国IRPC社と資本提携 **Topics 3**

5月 スーパーエコシップ「興山丸」が物流環境大賞を受賞 **Topics 4**

7月 液化炭酸\*2製造設備の増強に着手

7月 インド現地法人を設立 **Topics 5**

8月 千葉石油化学工場の合成ゴム製造設備増強工事(第1ステップ 年産1万5千トン)が完工

8月 有機金属化合物(MO)\*3 第二工場が完工

8月 「UBEグループCSR報告書2012」を発行

### Topics 1

機能品・ファイン

#### 堺工場でリチウムイオン二次電池用セパレーター製造設備増強に着手

車載用途をはじめとする需要増大に対応するため、堺工場で新たにリチウムイオン電池用セパレーター製造設備の建設に着手しました。セパレーターは現在、宇部ケミカル工場のみで生産していますが、車載用リチウムイオン電池市場の拡大に合わせて堺工場で段階的に生産能力を増強し、2014年度末には2工場合わせた生産能力を2億㎡にする計画です。2工場体制によってリスク分散を図り、安定供給の要請に応えてまいります。



第7期機能膜(セパレーター)製造設備(宇部ケミカル工場)

### Topics 2

機械・金属成形

#### 東洋機械金属(株)とダイカストマシン生産における業務提携に合意

宇部興産機械(株)は、主力製品であるダイカストマシンの生産について、東洋機械金属(株)との提携に合意しました。この提携により両社の中国工場の相互利用や資材の共同調達によるコスト削減、製品ラインナップの早期拡充などの効果が期待できます。また、9月には世界初の全電動ダイカストマシンの開発協力についても同社と合意しました。これにより開発のスピードアップを図るとともに、ダイカストマシンの全電動化により新たな市場を創出してまいります。



全電動ダイカストマシン「UB250eS」

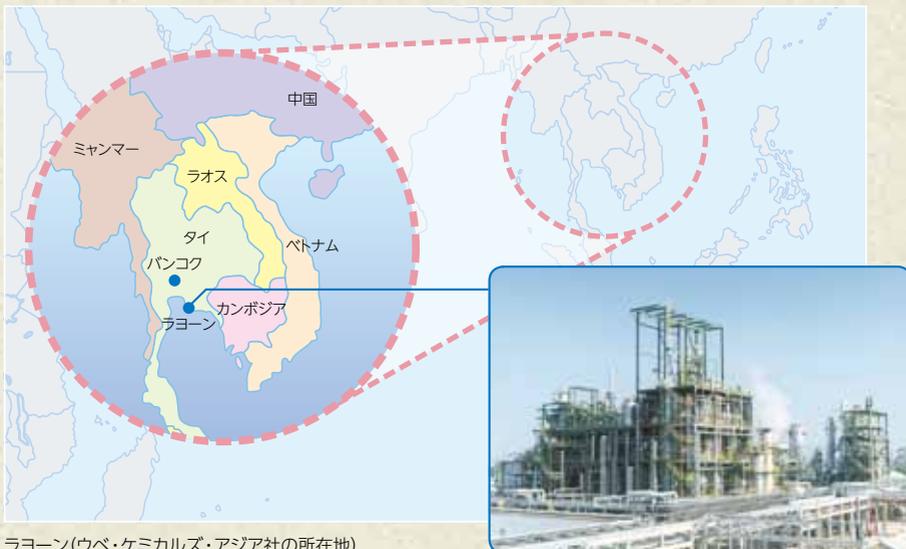


\*1 炭酸ジメチル 樹脂原料や医薬原料、塗料溶剤、ガンリンや軽油の無公害添加剤などの幅広い用途で使用される液体の有機化合物です。高純度品は、リチウムイオン電池の電解液溶剤としても使用されます。

### Topics 3

化成品・樹脂

#### ウベ・ケミカルズ・アジア社においてタイ国IRPC社と資本提携



ラヨーン(ウベ・ケミカルズ・アジア社の所在地)



IRPC社との調印式

当社は、タイ国のカプロラクタムやナイロン樹脂の製造・販売子会社 ウベ・ケミカルズ・アジア (UCHA) 社において、タイ国IRPC社との資本提携を行いました。IRPC社は、タイ国最大の上場企業で天然ガス、石油精製、石油化学などを手掛けるPTTグループの中核会社です。この提携により、IRPC社から原料やユーティリティの供給、港湾設備などのサービスを受けるUCHA社の事業基盤はさらに強化されます。

### Topics 4

建設資材

#### スーパーエコシップ「興山丸」が物流環境大賞を受賞



スーパーエコシップ「興山丸」

宇部興産海運㈱が運航するセメント運搬船「興山丸」が、(社)日本物流団体連合会から「第13回物流環境大賞」を受賞しました。「興山丸」は、貨物船として初めてディーゼルエンジンと電気推進システムを組み合わせたタンデム・ハイブリッド方式を採用したスーパーエコシップで、在来船に比べCO<sub>2</sub>排出量を20%以上低減させ、また、最適航路・船速を推奨するシステムの搭載により、省エネ効果を実現したことが評価されました。

### Topics 5

化成品・樹脂

#### インド現地法人を設立



当地のホテルで開催された開所式

インドにおけるグループ製品の販売・市場開拓の拠点として、「ウベ・インダストリーズ・インディア社」をハリヤナ州グルガオン地区に設立しました。UBEグループは、新興国を中心とする成長市場をターゲットにブラジル、韓国、台湾と相次ぎ現地法人を設立し、グローバル展開を進めています。インドにおいても、自動車産業をはじめとして、急速に発展する市場の取り込みを図ってまいります。

\*2 液化炭酸 炭酸ガスを液体化したもので、溶接用ガスや、炭酸飲料、ドライアイスなどに幅広く使用されます。石油精製やアンモニア製造工程などで副生する炭酸ガスを原料として製造されます。

\*3 有機金属化合物 (MO) LEDやレーザーダイオードの製造プロセスで使用される材料です。LEDの普及により需要が急拡大しています。

# 決算の概況(連結)

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

主な科目	前期 (2012年3月31日現在)	当中間期 (2012年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>284,417</b>	<b>288,076</b>
現金及び預金	33,267	32,575
受取手形及び売掛金	150,108	144,796
たな卸資産	81,266	88,695
その他	19,776	22,010
<b>固定資産</b>	<b>380,469</b>	<b>381,718</b>
有形固定資産	313,949	314,073
無形固定資産	4,941	4,745
投資その他の資産	61,579	62,900
<b>繰延資産</b>	<b>79</b>	<b>142</b>
<b>資産合計</b> <b>POINT 1</b>	<b>664,965</b>	<b>669,936</b>

主な科目	前期 (2012年3月31日現在)	当中間期 (2012年9月30日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>267,391</b>	<b>251,062</b>
支払手形及び買掛金	88,811	86,196
短期借入金	97,073	99,110
コマーシャル・ペーパー	2,999	2,999
1年内償還予定の社債	15,000	—
その他	63,508	62,757
<b>固定負債</b>	<b>173,167</b>	<b>181,207</b>
社債	15,100	30,100
長期借入金	122,151	115,853
退職給付引当金	6,534	6,556
その他	29,382	28,698
<b>負債合計</b> <b>POINT 2</b>	<b>440,558</b>	<b>432,269</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>218,861</b>	<b>222,285</b>
資本金	58,435	58,435
資本剰余金	28,459	28,459
利益剰余金	132,751	136,177
自己株式	△784	△786
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△19,388</b>	<b>△17,272</b>
<b>新株予約権</b>	<b>462</b>	<b>491</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>24,472</b>	<b>32,163</b>
<b>純資産合計</b> <b>POINT 3</b>	<b>224,407</b>	<b>237,667</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>664,965</b>	<b>669,936</b>

### POINT 1 資産

受取手形及び売掛金が53億円減少しましたが、たな卸資産が74億円増加したことなどにより、前期末比49億円(0.7%)増加しました。

### POINT 2 負債

支払手形及び買掛金が26億円、有利子負債が43億円減少したことなどにより、前期末比82億円(1.9%)減少しました。

### POINT 3 純資産

利益剰余金が34億円、タイ国子会社における第三者割当増資の実施などにより少数株主持分が76億円増加したことなどにより、前期末比132億円(5.9%)増加しました。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

主な科目	前中間期	当中間期
	(自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	(自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
売上高	311,642	310,775
売上原価	250,271	256,095
売上総利益	61,371	54,680
販売費及び一般管理費	38,722	38,492
営業利益	22,649	16,188
営業外収益	3,894	4,388
営業外費用	5,821	5,900
経常利益	20,722	14,676
特別利益	113	629
特別損失	1,484	1,144
税金等調整前中間純利益	19,351	14,161
法人税等	6,679	5,607
少数株主損益調整前中間純利益	12,672	8,554
少数株主利益	501	93
中間純利益	12,171	8,461

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

主な科目	前中間期	当中間期
	(自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	(自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,601	18,993
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,366	△18,192
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,902	△1,719
現金及び現金同等物に係る換算差額	326	217
現金及び現金同等物の増減額	△17,341	△701
現金及び現金同等物の期首残高	49,522	33,107
現金及び現金同等物の中間期末残高	32,181	32,406

## 連結株主資本等変動計算書 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括 利益累計額	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
前期末残高	58,435	28,459	132,751	△784	218,861	△19,388	462	24,472	224,407
中間期中の変動額									
剰余金の配当			△5,035		△5,035				△5,035
中間純利益			8,461		8,461				8,461
自己株式の取得				△4	△4				△4
自己株式の処分				2	2				2
株主資本以外の項目の中間期中の変動額(純額)						2,116	29	7,691	9,836
中間期中の変動額合計	—	—	3,426	△2	3,424	2,116	29	7,691	13,260
中間期末残高	58,435	28,459	136,177	△786	222,285	△17,272	491	32,163	237,667

CSR報告書は、皆様的一年間のCSR活動の結果と課題をわかりやすくお伝えしています。



## 2012年版の特徴

- 1. 社長メッセージ**：有識者との対談  
大阪市立大学大学院准教授の永田先生をお迎えして行った対談の内容を、社長メッセージとして紹介いたしました。
- 2. 特集**：UBEグループが夢のある成長と環境への配慮に取り組んでいることを示す例として、航空宇宙材料事業と資源リサイクル事業を取り上げました。
- 3. 企業理念**：UBEグループCSRの原点である「共存同栄」の精神とグループの経営理念の記載に加え、「宇宙方式」など、これまでのUBEグループの環境への取り組みを追記いたしました。
- 4. 「有識者による第三者意見」**：新たに、神戸大学大学院経営学研究科教授の國部克彦先生をお願いいたしました。
- 5. 新設**：「生物多様性への取り組み」、および「グループ会社の個々のCSR活動」について報告いたしました。

## 会社概要

設立	1942(昭和17)年3月
資本金	58,434百万円
従業員数	3,976人(連結 11,202人)
連結対象会社	92社 (連結子会社 67社、持分法適用会社 25社)
ホームページアドレス	<a href="http://www.ube.co.jp">http://www.ube.co.jp</a>

## 役員

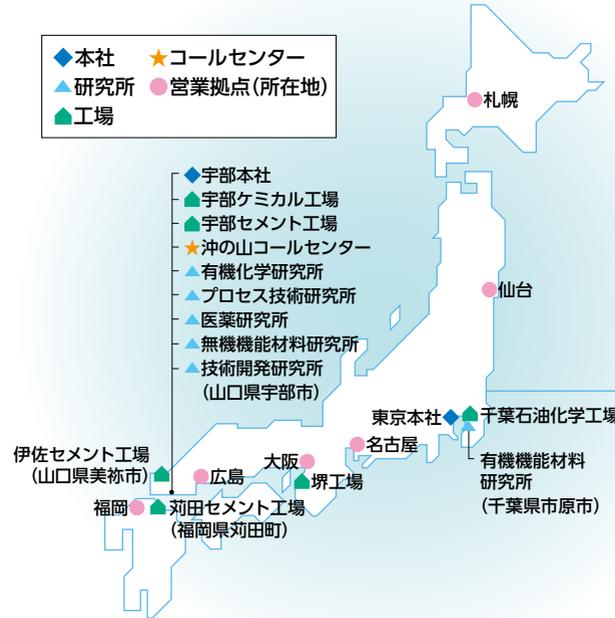
(注) \*は取締役との兼務を示しています。

取締役会長	田村 浩章	社長執行役員*	竹下 道夫
代表取締役社長	竹下 道夫	副社長執行役員*	古川 陽道
代表取締役	古川 陽道	専務執行役員	山本 謙
取締役	泉原 雅人	専務執行役員	杉下 秀幸
取締役(社外)	元田 充隆	常務執行役員	チャルニアピットク
取締役(社外)	野口 章二	常務執行役員	渡邊 史信
取締役(社外)	東 哲郎	常務執行役員	妙中 信之
		常務執行役員	久保田 隆昌
常勤監査役	藤岡 啓介	常務執行役員	松波 正
常勤監査役	三宅 節郎	常務執行役員	木内 政行
常勤監査役(社外)	岩淵 毅	常務執行役員	リカルドペソソリア
監査役(社外)	杉尾 整	常務執行役員	杉瀬 良二
		常務執行役員	糸口 栄一
		執行役員	大原 真二
		執行役員	平井 雅典
		執行役員	三隅 淳一
		執行役員*	泉原 雅人
		執行役員	佐藤 津義
		執行役員	松永 悦夫
		執行役員	岡田 徳久
		執行役員	野嶋 正彦
		執行役員	市川 正隆
		執行役員	山元 篤

「UBEグループCSR報告書2012」は当社HP(<http://www.ube.co.jp>)環境安全・社会貢献のページよりダウンロードいただけます。  
(お問合せ・資料請求先：CSR推進部 Tel：03-5419-6118 Fax：03-5419-6237)

## 主な事業所

### 国内拠点



### 部門別主要連結対象会社

化成系・樹脂部門	建設資材部門
宇部フィルム(株)	宇部興産海運(株)
タイ・シンセティック・ラバーズ社(タイ国)	大協企業(株)
宇部アンモニア工業(有)	萩森興産(株)
ウベ・ケミカル・ヨーロッパ社(スペイン)	ウベボード(株)
ウベ・ケミカルズ・アジア社(タイ国)	宇部建設資材販売(株)
ウベ・エンジニアリング・プラスチック社(スペイン)	(株)関東宇部ホールディングス
ウベ・コーポレーション・ヨーロッパ社(スペイン)	宇部マテリアルズ(株)
	山石金属(株)
	宇部三菱セメント(株)*
機能系・ファイン部門	機械・金属成形部門
宇部日東化成(株)	宇部興産機械(株)
明和化成(株)	ウベ・マシナリー社(米国)
ユー・イー・エル(株)	宇部テクノエンジ(株)
ウベ・ファイン・ケミカルズ・アジア社(タイ国)	(株)宇部スチール
ウベ・アドバンス・マテリアルズ社(米国)	(株)福島製作所
	エネルギー・環境部門
	宇部シーアンドエー(株)
	その他の部門
	ウベ・アメリカ社(米国)
	ウベ・ホンコン社(中国)

\*持分法適用会社

### 海外拠点 (主要な海外子会社の所在地)



## 株式の状況

発行可能株式総数 3,300,000,000株  
 発行済株式の総数 1,007,015,800株 (自己株式2,149,206株を除く)  
 株主数 77,366名

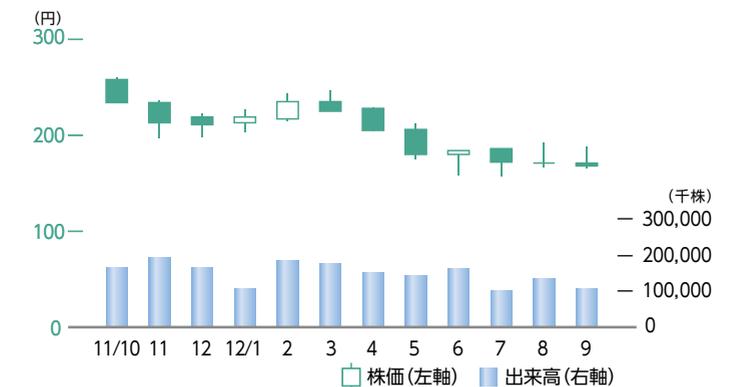
### 大株主

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	65,146	6.47
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	59,005	5.86
全国共済農業協同組合連合会	34,994	3.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	33,376	3.31
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	28,202	2.80
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	25,326	2.52
日本生命保険相互会社	20,000	1.99
住友生命保険相互会社	20,000	1.99
818517ノムラルクスマルチカレンシジエイピストクリド	19,548	1.94
ピービーエイチ493025ブラックロックグローバルアロケーションファンドインク	14,488	1.44

## 配当金推移

1株当たり配当金	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
	5.0円	4.0円	4.0円	5.0円	5.0円	5.0円 (期末配当予定)

## 株価及び出来高 (東京証券取引所)



# Information

## 単元未満株式（当社では1,000株未満の株式）の買取・買増制度について

当社株式の市場取引は1,000株単位となっておりますので、単元未満株式をお持ちの株主様につきましては、端数となっております株式が整理できる買取・買増制度を設けております。証券会社等にお持ちの口座に単元未満株式がございます場合には、お取引証券会社等へお申し出ください。

**買取請求とは** 株主様にご所有の単元未満株式を、当社に対して時価で売却することができる手続きです。

**買増請求とは** 株主様にご所有の単元未満株式と合わせて1単元（1,000株）となるように、当社に対して時価で単元未満株式の売り渡しを請求することができる手続きです。

証券会社等に口座をお持ちでない株主様につきましては、特別口座を開設して株数が記録されておりますので、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行 証券代行部（電話0120-232-711）へお申し出ください。



UBEグループは「共存同栄」「有限の鉱業から無限の工業へ」という創業の理念を踏まえ、下記のグループビジョンを掲げ、機能性材料や環境負荷の低い製品・技術など、化学を中心とした独自技術で未来の価値を創造していきます。

## UBEグループビジョン

**技術の翼と革新の心。世界にはばたく私たちのDNAです。**

フロンティアスピリットを胸に、無限の技術で世界と共生するUBEグループは、次代の価値を創造し続けます。

**宇部興産株式会社** ■東京本社 〒105-8449 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館  
■宇部本社 〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96

※本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますことをご承知おきください。



本書は、FSC®の認証紙を使用し、揮発性有機化合物の排出を最小限に抑えたECF（無塩素漂白）パルプから製造された用紙と、植物油インキを使用しています。また、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日より翌年3月31日まで
- 定時株主総会開催時期 6月下旬
- 基準日  
定時株主総会 3月31日  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日
- 公告の方法 電子公告  
http://www.ube.co.jp
- 株主名簿管理人 特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081  
(同連絡先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

## 【株式に関するお手続きについて】

1. 単元未満株式の買取・買増、住所・氏名等のご変更、株式の口座振替請求、配当金受取方法の指定等のお申出先原則、株主様が口座を開設されているお取引証券会社等にて手続きをお取りください。  
ただし、証券会社等に口座をお持ちでない株主様につきましては、特別口座を開設して株数が記録されておりますので、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行 証券代行部にて手続きをお取りください。
2. 未払配当金のお支払い、その他株式事務に関する一般的なお問合せ  
株主名簿管理人の三菱UFJ信託銀行 証券代行部にお問合せください。

- 表紙の写真
- ① スーパーエコシップ「興山丸」
  - ② 第7期機能膜（セパレーター）製造設備（宇部ケミカル工場）
  - ③ IRPC社との調印式
  - ④ 第5回 宇部興産グループ チャリティコンサート